

入院患者に 美の癒やし

アガペ大鶴美術館 13日オープン

西宮・甲山町の病院に併設

象牙彫刻やアンティーク時計などの美術品を展示する「アガペ大鶴美術館」が13日、西宮市甲山町のアガペ甲山病院敷地内にオープンする。病院、高齢者施設、教会などを運営するアガペ・グループが創設。入院患者や入所者の心を癒やそうと、同グループの大鶴昇代表(72)が約20年をかけて収集した美術品約500点を一般公開する。

(松本大輔)

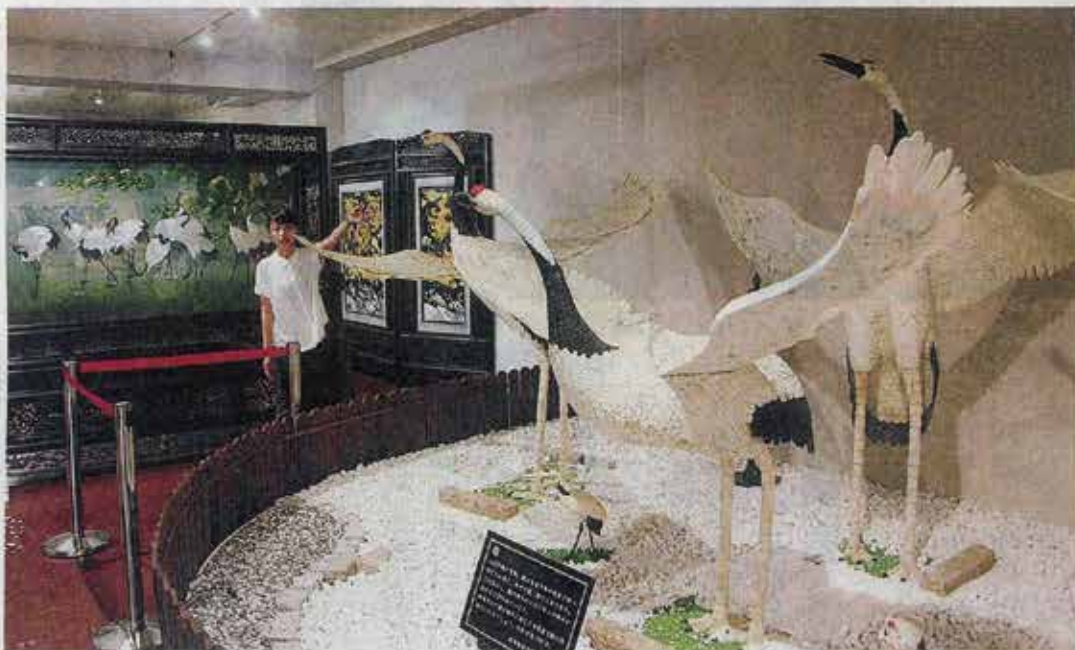
美術館は4階建てで、延べ床面積約1600平方メートル。館内には姫路城や法隆寺、日本丸の象牙彫刻、景德鎮の磁器つぼのほか、年代物の貴重な一眼レフカメラなども展示する。

車いすでの鑑賞を想定し、ゆったりとした展示スペースを確保。建物外観は六甲山の風をイメージし、青と緑のタイル張りであり、明るい雰囲気包ま

象牙彫刻の姫路城

姫路城の彫刻、景德鎮など500点

館内に展示される美術品の数々。いずれも西宮市甲山町



れる。

午前10時～午後5時

大鶴代表は「美術館を一般千円、65歳以上、大訪れることが難しい患者 学・高校生700円、小さんに見てもらい、治療 中学生500円。火曜休の一環につなげたい」と館。☎0798・73・5111

グループ代表が20年がかりで収集